

2 新かながわグランドデザインにおける県央地域重点事業

(1) プロジェクトに関連する地域を支える主な取組

分野	主な取組	所管	ページ
都市基盤	1 厚木秦野道路（国道246号バイパス）の整備促進	道路企画課	28
	2 交流幹線道路網の整備（県道22号（横浜伊勢原）、県道42号（藤沢座間厚木）、（都）丸子中山茅ヶ崎線、（都）座間南林間、県道46号（相模原茅ヶ崎）（上郷立体）など）	厚木土木事務所	29
		厚木土木事務所東部センター	30～33
	3 交差点改良（県道40号（横浜厚木）など）	厚木土木事務所東部センター	33
	4 東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道小仏トンネル付近や相模湖付近の渋滞対策の促進	道路企画課	34
	5 リニア中央新幹線の建設促進と県内駅設置促進	交通政策課	36
	6 J R相模線複線化等の促進	交通政策課	37
	7 歩道の整備（県道60号（厚木清川）〔2027年度完成予定〕など）	厚木土木事務所	38
		厚木土木事務所東部センター	39
	8 トンネルの修繕（県道64号（伊勢原津久井）宮ヶ瀬トンネルなど）	厚木土木事務所	40
	9 県立都市公園の整備（相模原公園、相模川三川公園、座間谷戸山公園、あいかわ公園、津久井湖城山公園、七沢森林公園、相模湖公園）	厚木土木事務所	41
		厚木土木事務所東部センター	42
		厚木土木事務所津久井治水センター	43
	10 県営上溝団地及び県営綾瀬寺尾団地の整備	公共住宅課	44
11 相模川流域下水道の整備	下水道課	46	
12 公共下水道の整備の促進	下水道課	47	
13 アオコ対策（相模湖など）	河港課	48	
14 多自然護岸の整備（目久尻川、永池川）	厚木土木事務所東部センター	49	
危機管理	1 境川相鉄橋りょう架替〔2029年度完成予定〕	厚木土木事務所東部センター	49
	2 護岸、堤防の整備（相模川、境川、引地川、蓼川）	厚木土木事務所東部センター	49
		厚木土木事務所	50
		厚木土木事務所津久井治水センター	51
	3 相模川中流域の置き砂の実施	厚木土木事務所	52
	4 砂防施設の整備（明神沢など）	厚木土木事務所	53
		厚木土木事務所津久井治水センター	54
	5 急傾斜地崩壊防止施設の整備（関口地区など）	厚木土木事務所	55
		厚木土木事務所津久井治水センター	56
	6 道路法面の防災対策（国道412号など）	厚木土木事務所	57
7 橋りょうの耐震補強（県道64号（伊勢原津久井）大柵沢橋など）	厚木土木事務所	58	
8 無電柱化（県道42号（藤沢座間厚木）など）	厚木土木事務所東部センター	59	
9 総合防災センター及び消防学校の活用	総合防災センター	60	
10 堆積土砂の除去（相模湖など）	利水課	61	

その他	1	水源地域の活性化と水源環境の理解促進	土地水資源対策課	64
	2	地域の特性を生かした移住・定住の促進	地域政策課	66
	3	ロボット産業の創出・育成	産業振興課	67
	4	産学公連携による技術の高度化支援	産業振興課	68
	5	企業立地や設備投資などの促進	企業誘致・国際ビジネス課	69
	6	農村振興総合整備（早川春日原地区）	県央地域県政総合センター	70
	7	農業用水路の整備（相模川右岸地区、相模川左岸県央地区など）	県央地域県政総合センター	71
	8	農業用取水施設の整備（清水下地区）	県央地域県政総合センター	73
	9	里地里山の保全（小松・城北地域、七沢地域、荻野地域、小鮎地域、篠原の里地域）	県央地域県政総合センター	74
	10	森林整備の推進	県央地域県政総合センター	75

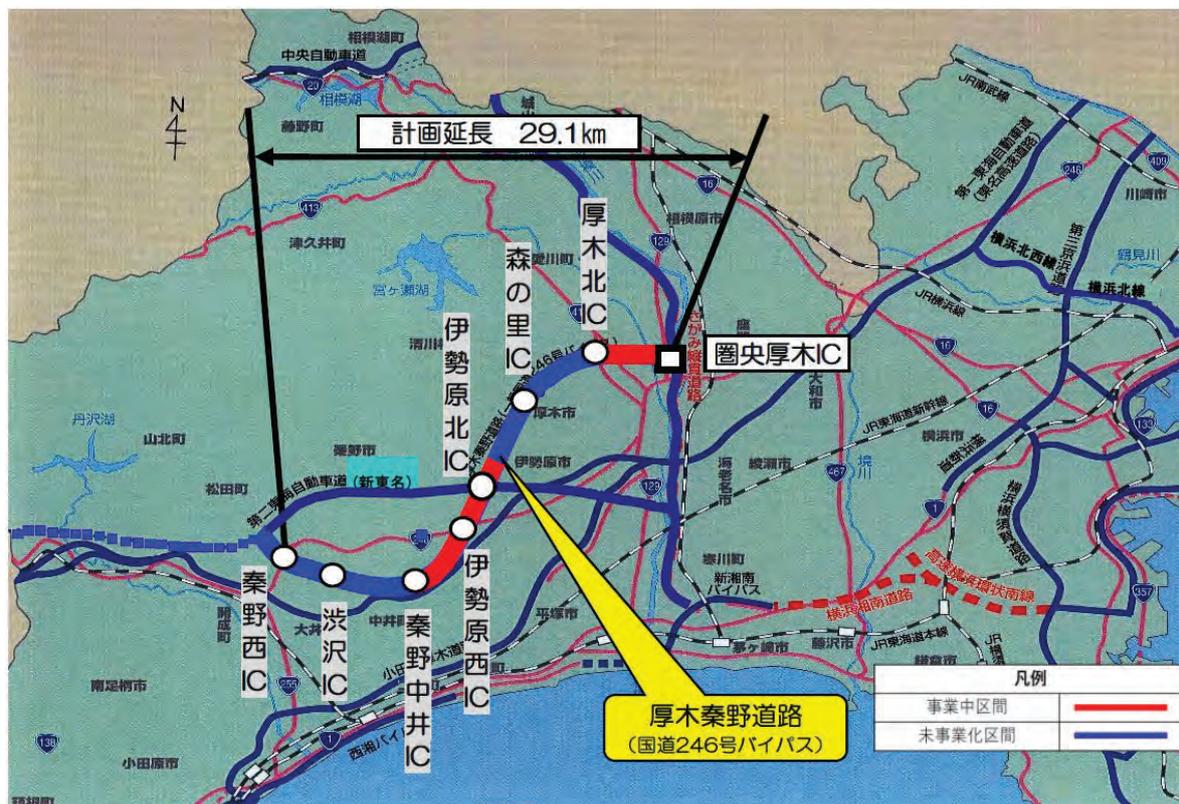
(2) プロジェクトに関連する地域を支える主な取組以外の取組

県央地域	1	街路整備事業 都市計画道路 平塚相模原線〔県道601号(酒井金田)〕	厚木土木事務所	77
	2	道路補修事業 国道129号	厚木土木事務所	78
	3	樹林化対策事業 相模川・中津川	厚木土木事務所	79
	4	「旅たび相模」魅力発信・観光振興事業	県央地域県政総合センター	80
	5	宮ヶ瀬湖周辺地域ブランディング推進事業	県央地域県政総合センター	81
	6	丹沢大山の自然再生施策の推進	自然環境保全センター	82
	7	宇宙関連企業交流拠点事業・振動試験設備モデル設置事業	産業振興課	84
	8	宇宙関連産業広報事業	産業振興課	85
	9	相模原市・神奈川県連携 広域スタートアップ支援ネットワーク形成事業	産業振興課	86
	10	鳥獣被害対策の強化	県央地域県政総合センター	87
	11	文化芸術創造チャレンジ事業	文化課	88

厚木秦野道路（国道246号バイパス）の整備促進

区分	厚木市中依知～秦野市八沢
事業概要	厚木秦野道路(国道246号バイパス)は、国道246号の慢性的な交通混雑の緩和を図るとともに、新東名高速道路などと一体となって高速道路ネットワークを強化し、地域の活性化に寄与する重要な路線で、全線延長約29kmのうち、圏央厚木ICから（仮称）厚木北IC、伊勢原市西富岡から秦野中井ICまでの区間約14kmが事業化され、現在、用地取得や工事が実施されている。県は、関係機関や地元との調整に協力している。
全体事業費	1,200億円(事業中区間の合計)
令和8年度事業内容	国への要望活動実施

圏央厚木IC～秦野西IC



【湘南地域該当：伊勢原市、秦野市】

※IC：インターチェンジ

※IC名（圏央厚木IC、秦野中井ICを除く）は仮称

問合せ先

県土整備局 道路部

道路企画課

電話 045-210-1111 内線6423

交流幹線道路網の整備

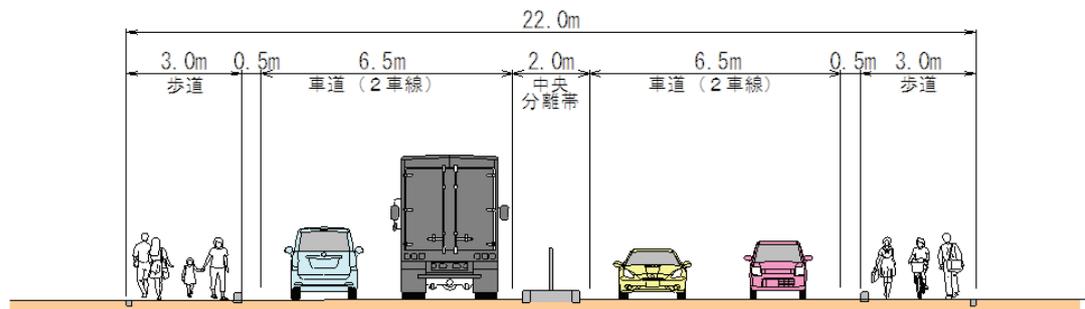
道路改良事業 県道42号（藤沢座間厚木）

区分	県道42号（藤沢座間厚木） 厚木市三田～下荻野地内
事業概要	本路線は、厚木市域の東西方向における広域ネットワークを形成する「都市計画道路 座間荻野線」である。 厚木市街の交通渋滞緩和を図るため、4車線道路を整備する。 事業延長約1,170m 計画幅員22m
全体事業費	約120億円
令和8年度事業内容	橋梁上部工、道路改良工ほか
事業期間	平成22年度～令和8年度

〔平面図〕



〔標準横断面図〕



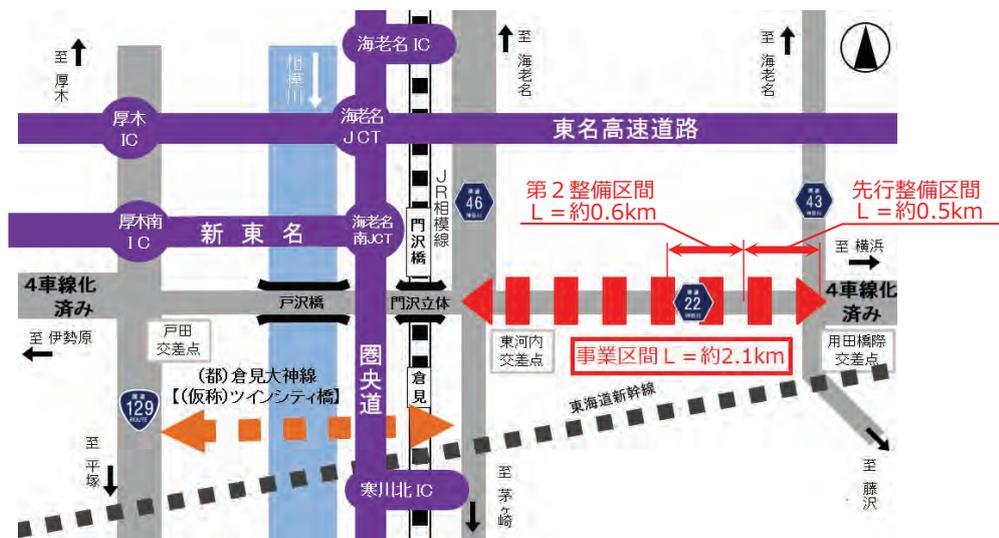
問合せ先
厚木土木事務所
工務部 道路都市課
電話 046-223-1711 内線620

交流幹線道路網の整備

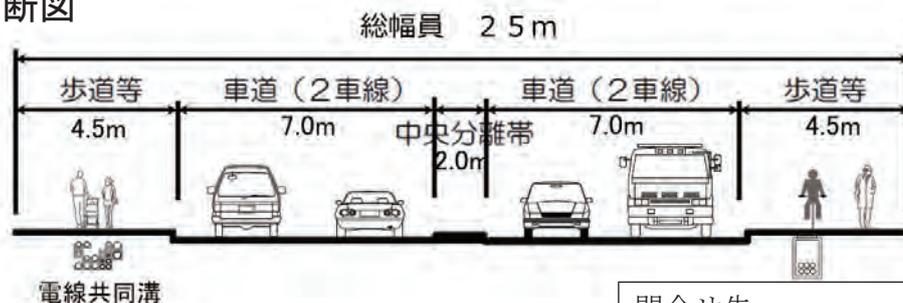
道路改良事業 県道22号（横浜伊勢原）

区分	海老名市本郷～門沢橋一丁目
事業概要	<p>本路線は、横浜市から伊勢原市に至る、県中央部の東西軸となる主要幹線道路で、東側の県道43号(藤沢厚木)用田橋際交差点までの区間と、西側の国道129号戸田交差点までの区間は4車線化整備が完了しており、残る未整備区間は海老名市域を主とした約4km区間のみで、慢性的な交通渋滞が発生している箇所となっている。このため、未整備区間のうち、県道43号(藤沢厚木)用田橋際交差点から県道46号(相模原茅ヶ崎)東河内交差点までの約2.1km区間について4車線化整備を行い、広域的な地域間の交流連携を図るものである。</p> <p>事業延長：L=約2.1km 幅員：W=25m（4車線）</p>
全体事業費	66億円
令和8年度事業内容	改良工、委託、用地・補償
事業期間	平成30年度～令和22年度（予定）

平面図



標準横断図



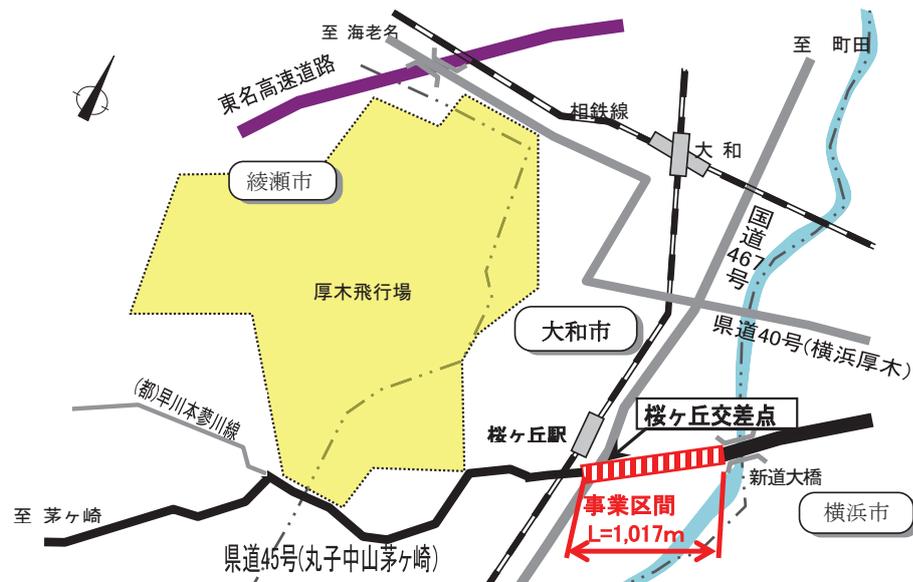
問合せ先
 厚木土木事務所東部センター
 道路都市課
 電話 0467-79-2800 内線230

交流幹線道路網の整備

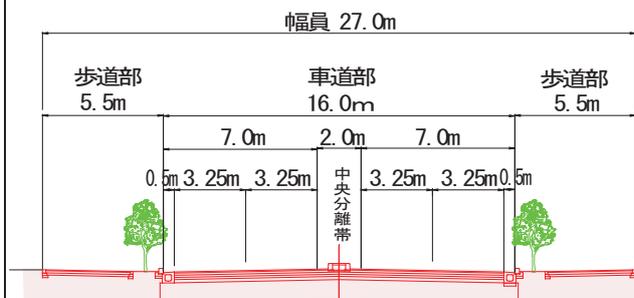
街路整備事業 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線

区分	大和市上和田～福田
事業概要	<p>本路線は、横浜・川崎と湘南地域を結ぶ県土の骨格を形勢する主要幹線道路で、横浜市域は既に4車線で整備されているが、大和市内は2車線であるため、慢性的な交通渋滞が発生し、歩道も狭く歩行者等の通行に支障となっている。</p> <p>このため、横浜市境から国道467号の桜ヶ丘交差点付近までの区間について、4車線化整備を行い、交通渋滞の緩和と安全な歩行空間の確保や広域的な地域間の交流連携を図るものである。</p> <p>事業延長：L=1,017m 幅員：W=27m（4車線）</p>
全体事業費	約106億円
令和8年度事業内容	交差点改良工、委託、用地・補償
事業期間	平成14年度～令和16年度

平面図



標準横断面図



完成イメージ



問合せ先
 厚木土木事務所東部センター
 道路都市課
 電話 0467-79-2800 内線230

交流幹線道路網の整備

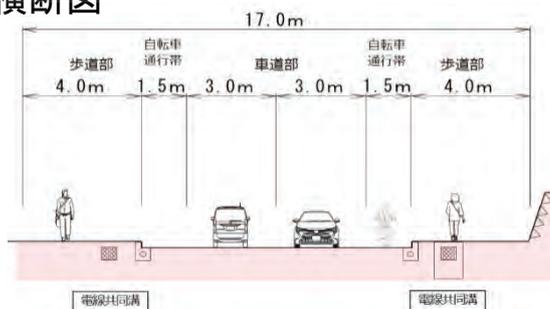
街路整備事業 都市計画道路 座間南林間線

区分	座間市座間一丁目～入谷西三丁目
事業概要	<p>本路線は、座間市の中央部を東西方向に貫き、相模川を渡河し圏央道へ繋がる幹線道路で、広域的な利便性の向上や地域の活性化に寄与する重要な路線である。県道46号(相模原茅ヶ崎)と交差する座間下宿交差点から県道51号(町田厚木)との交差点までの区間は、幅員が狭小で交通量も多く交通渋滞が発生するなど、社会経済活動に支障をきたしているため、道路拡幅整備を行い安全な歩行空間を確保するとともに、地域間の交流連携や圏央道へのアクセス性向上を図るものである。併せて、防災や良好な景観形成を図るため、無電柱化に取り組むこととしている。</p> <p>事業延長：L=691m 幅員：W=17m (2車線)</p>
全体事業費	約27億円
令和8年度事業内容	改良工、委託、用地・補償
事業期間	令和3年度～令和12年度

平面図



標準横断面図



問合せ先

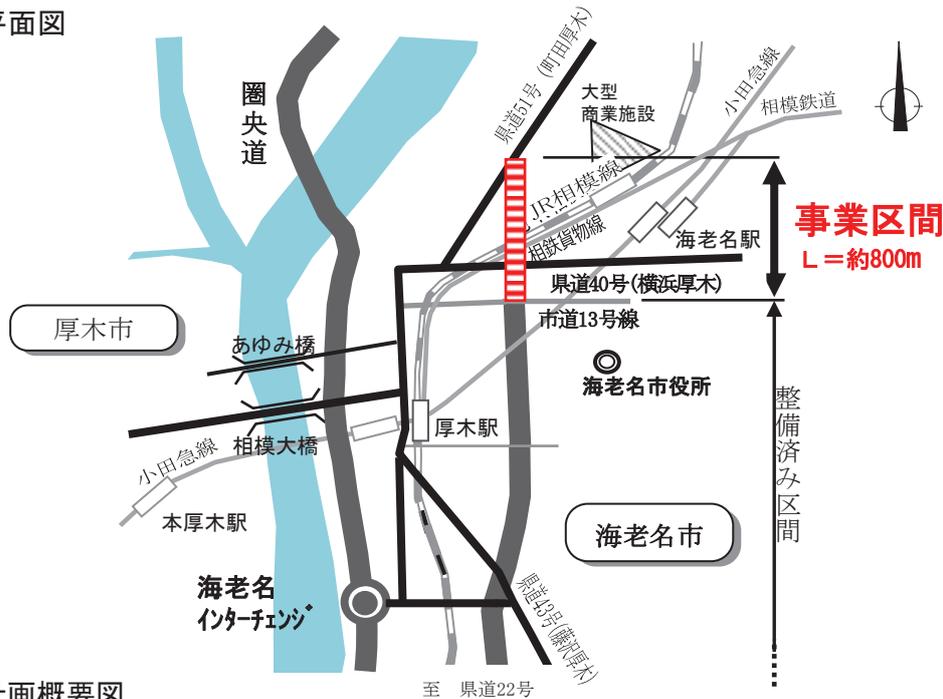
厚木土木事務所東部センター
道路都市課
電話 0467-79-2800 内線230

交流幹線道路網の整備／交差点改良

道路改良事業 県道46号（相模原茅ヶ崎）

区分	海老名市上郷～河原口
事業概要	<p>本路線は、相模原市を起点とし茅ヶ崎市に至る県央・湘南地域を南北に連絡する主要な幹線道路で、県道22号(横浜伊勢原)から4車線化整備を進め、市道13号線までの区間について、平成20年度までに供用開始している。北側の県道51号(町田厚木)までの区間は、2車線のままで、JR相模線等の鉄道踏切があり慢性的な交通渋滞が発生していることから、鉄道の立体交差化を含めた4車線化整備を行い、地域間の交流連携や圏央道へのアクセス性向上を図るものである。</p> <p>事業延長L=800m、幅員W=27m（4車線）</p>
全体事業費	約68億円
令和8年度事業内容	橋梁下部工、委託、用地・補償
事業期間	平成23年度～令和13年度（予定）

平面図



計画概要図



至 座間

完成イメージ



至 寒川

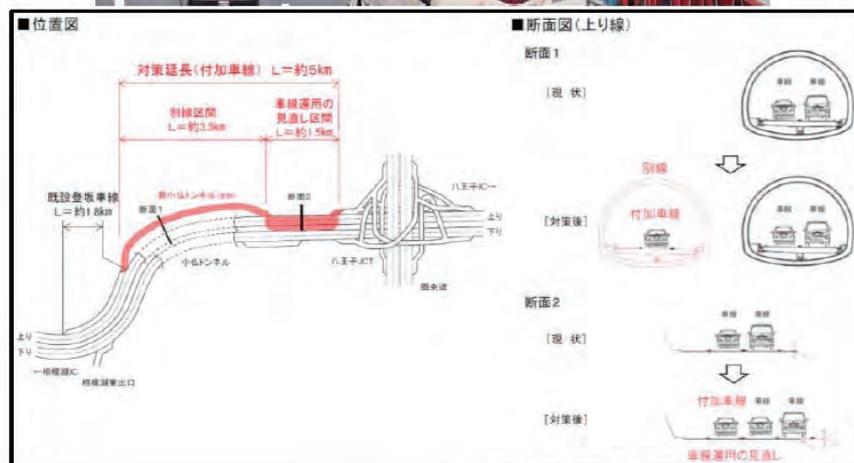
問合せ先
厚木土木事務所東部センター
道路都市課
電話 0467-79-2800 内線230

東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道小仏トンネル付近や相模湖付近の渋滞対策の促進

区分	東名高速道路（横浜町田 I C－厚木 I C）
事業概要	<p>東名高速道路は、三大都市圏を結ぶ大動脈であるとともに、本県においては、県外に開かれたネットワークを形成する重要な道路で、大和トンネル付近や綾瀬スマート I C 付近などでは、交通容量不足等により慢性的な渋滞が発生している。こうした中、令和 4 年 11 月までに、大和トンネルを含む区間の拡幅や、横浜町田 I C 下り線の加速車線の延伸が完成し、運用を開始しており、残る区間について、現在、工事等が進められている。また、綾瀬スマート I C 付近の上り線についても、付加車線設置による渋滞対策が事業化され、現在、対策の検討が進められており、県は、関係機関との調整に協力している。</p>
令和 8 年度事業内容	国への要望活動実施
大和トンネル付近(上り線、名古屋側坑口)の交通状況の変化	
	
工事着手前	
	
2021 年 7 月運用開始後	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問合せ先 県土整備局 道路部 道路企画課 電話 045-210-1111 内線6423</p> </div>	

東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道小仏トンネル付近や相模湖付近の渋滞対策の促進

区分	中央自動車道（八王子 J C T－相模湖 I C）
事業概要	中央自動車道は、三大都市圏を結ぶ大動脈であるとともに、本県においては、県外に開かれたネットワークを形成する重要な道路で、小仏トンネル付近や相模湖などでは、交通容量不足等により慢性的な渋滞が発生している。こうした中、小仏トンネル付近の上り線及び相模湖付近の下り線について、付加車線設置による渋滞対策が事業化され、現在、工事等が進められており、県は、関係機関との調整に協力している。
令和 8 年度事業内容	国への要望活動実施



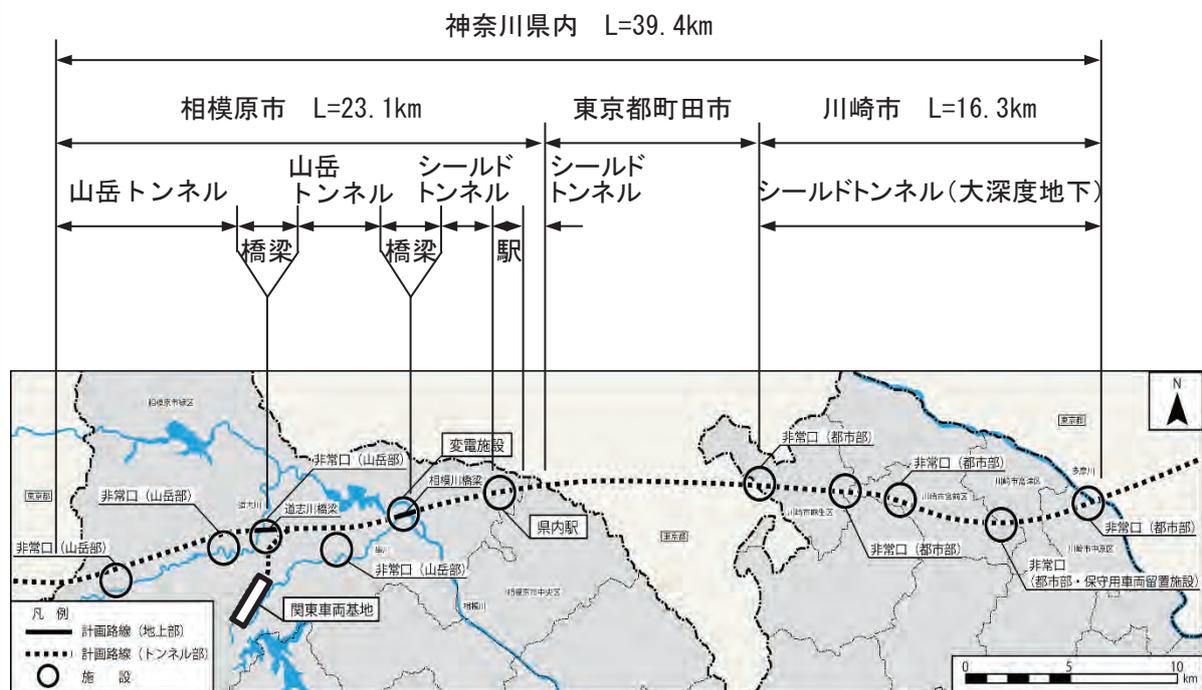
渋滞対策の概要(付加車線設置)

問合せ先
 県土整備局
 道路部 道路企画課
 電話 045-210-1111 内線6423

リニア中央新幹線の建設促進と県内駅設置促進

<p>区分</p>	<p>リニア中央新幹線の建設促進</p>
<p>事業概要</p>	<p>リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮することにより、三大都市圏間の交流、連携を一層強化し、わが国の新たな国土の大動脈として、産業経済活動を支えるとともに、東京・大阪間の二重系化により、災害に強い国土づくりに資する極めて重要な社会基盤であり、早期に整備しなければならない路線である。</p> <p>このリニア中央新幹線が建設され、神奈川県駅が「橋本駅付近」に設置されることは、本県の産業・経済・文化の一層の発展に寄与するとともに、持続可能な神奈川の県土づくりに大きく貢献するものである。</p> <p>リニア中央新幹線の早期整備に向け、県は、「リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会」を通じて、国や東海旅客鉄道株式会社などに要望活動を行っている。</p>
<p>令和8年度事業内容</p>	<p>国や東海旅客鉄道株式会社等への要望活動実施</p>

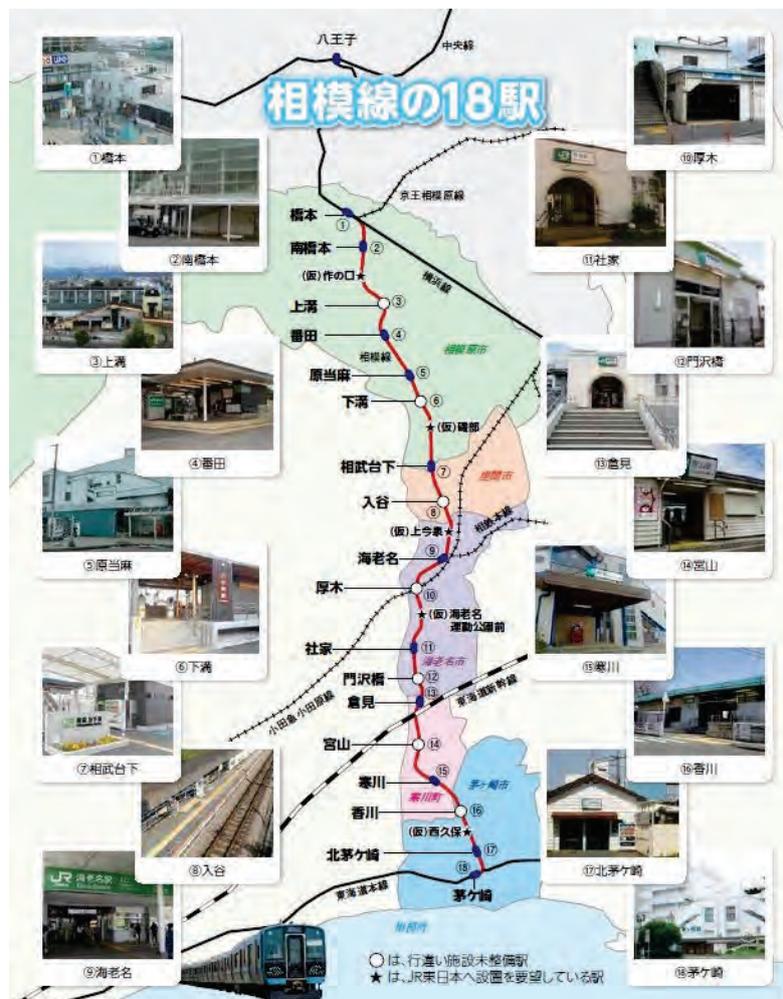
(神奈川県内の事業概要)



問合せ先
 県土整備局 都市部
 交通政策課
 045-210-1111 内線6185

J R相模線複線化等の促進

区分	J R相模線複線化等の促進
事業概要	<p>東京都心から約50km圏に位置する相模線は、東海道本線や横浜線など東京や横浜方面に向かう5つの路線と接続する鉄道である。</p> <p>相模線は、単線のため列車の行違いの待ち時間等により、表定速度が低く、運行本数も少ないなど、周辺の鉄道と比較して輸送サービス水準が低くなっている。</p> <p>所要時間の短縮、運行本数の増加等による輸送サービスの向上を図り、沿線地域を活性化するためには、相模線の複線化が必要になっており、県は、沿線市町などで構成される「相模線複線化等促進期成同盟会」に参画し、行違い施設の整備や部分的な複線化等、段階的整備などに取り組んでいる。</p>
令和8年度事業内容	東日本旅客鉄道株式会社等への要望活動実施



問合せ先
 県土整備局 都市部
 交通政策課
 045-210-1111 内線6182

歩道の整備

県道60号（厚木清川）

区分	県道60号（厚木清川）厚木市及川地内
事業概要	大型車の交通量が多く、またバス路線であるにも関わらず、道路が狭小なうえに歩道も整備されていない当該区間において、歩行者が安心して通行できるよう、歩道の整備を行う。
全体事業費	約4億2,000万円
令和8年度事業内容	用地買収、歩道整備
事業期間	平成27年度～令和9年度（予定）

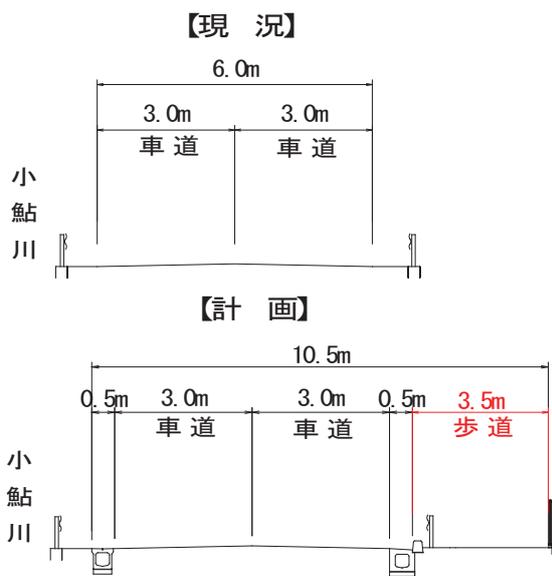
〈平面図〉



至 厚木市街地

〈標準横断面図〉

〈写真〉



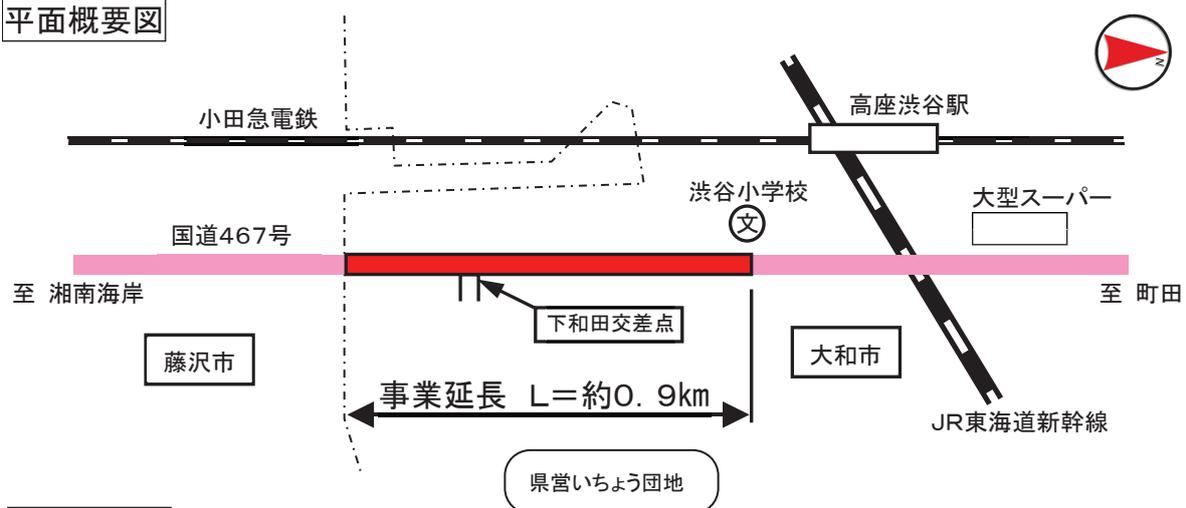
問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 道路維持課
 電話 046-223-1711 内線610

歩道の整備

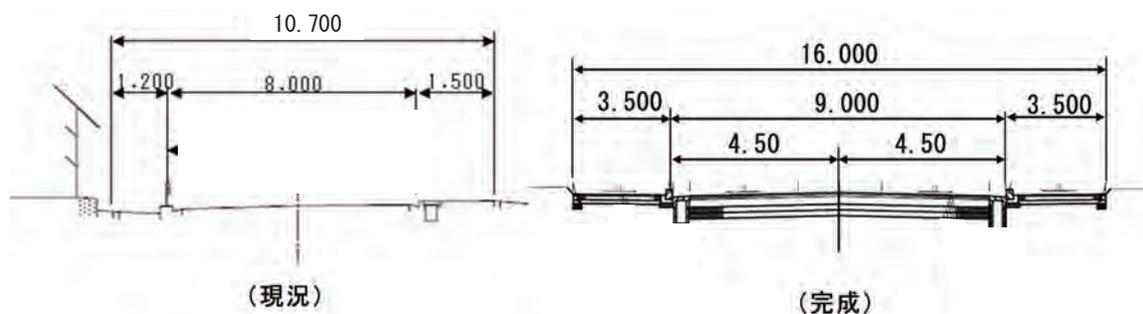
交通安全施設等整備事業 国道467号

区分	大和市下和田
事業概要	<p>国道467号の大和市立渋谷小学校から藤沢市境までの間は、小田急線高座渋谷駅や大型商業施設等からも近く、また、通学路にも指定されていることから、歩行者等の通行が多い。</p> <p>このため、幅の広い歩道整備を進めることにより、歩行者等の交通事故防止、通学路の安全性向上を図る。</p> <p>(1) 事業延長 約0.9km (2) 歩道幅員 3.5m</p>
全体事業費	約14.5億円
令和8年度事業内容	歩道整備工
事業期間	平成16年度～令和12年度(予定)

平面概要図



標準断面図



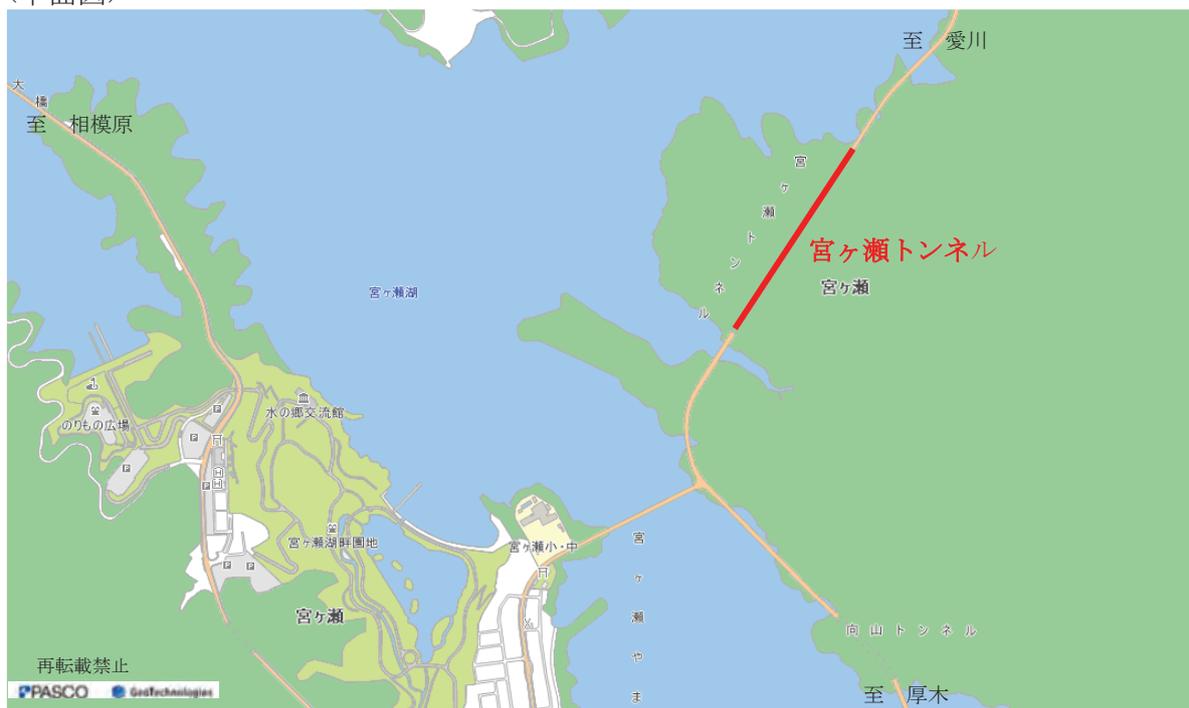
問合せ先
厚木土木事務所東部センター
道路維持課
電話 0467-79-2800 内線280

トンネルの修繕

県道64号（伊勢原津久井）宮ヶ瀬トンネル

区分	県道64号（伊勢原津久井）清川村宮ヶ瀬地内 宮ヶ瀬トンネル
事業概要	県民の安全・安心かつ快適な生活を持続するため、AIやドローンなどのデジタル技術を活用しながら、トンネルのメンテナンスを行う。
全体事業費	約700万円
令和8年度事業内容	トンネル補修工
事業期間	令和8年度（予定）

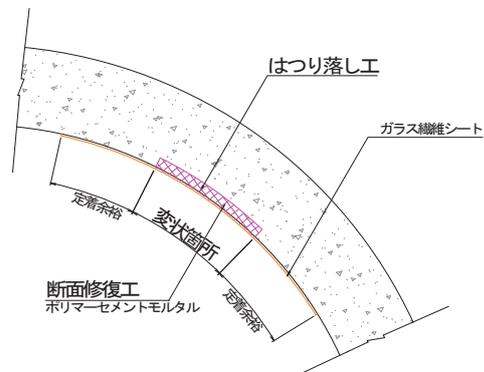
〈平面図〉



〈写真〉



〈断面修復工（参考図）〉



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 道路維持課
 電話 046-223-1711 内線610

県立都市公園の整備

七沢森林公園 他

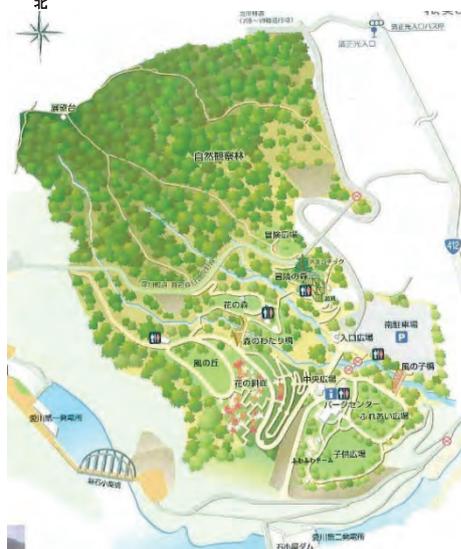
区分	厚木市七沢 他
事業概要	<p>七沢森林公園では、多様な動植物を育む自然環境を県民との協働等により保全するとともに、自然とのふれあい、散策、休養、レクリエーションなど、多様な公園利用に対応した管理運営及び老朽化した施設改修を行う。</p> <p>○ 開園面積A=64.6ha</p> <p>あいかわ公園では、宮ヶ瀬ダム周辺施設との連携を図りながら、散策、観賞、遊び、体験など多様なレクリエーション機能を提供するとともに、愛川、宮ヶ瀬地域の自然環境の普及啓発や野外活動の拠点機能を発揮するよう管理運営及び老朽化した施設改修を行う。</p> <p>○ 開園面積A=51.9ha</p>
全体事業費	約3億5,000万円
令和8年度事業内容	<p>あずまや 四阿改修工（七沢森林公園）</p> <p>遊具施設改修工（あいかわ公園）</p>
事業期間	令和8年度（予定）

〔七沢森林公園 平面図〕



園路改修工

〔あいかわ公園 平面図〕



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 道路都市課
 電話 046-223-1711 内線620

県立都市公園の整備

都市公園整備事業（座間谷戸山公園 他）

<p>区分</p>	<p>座間市入谷東一丁目 他</p>
<p>事業概要</p>	<p>座間谷戸山公園は、身近な自然とのふれあいを楽しめる全国初の「自然生態観察公園」であり、ボランティアとの連携による公園づくりを進めています。</p> <p>○ 開園面積A=31.01ha</p> <p>相模三川公園は、相模川河川敷の広がりある空間と相模川の西に広がる丹沢大山山塊等の展望を楽しめる公園で、水と緑、地域文化とふれあえる県央地域の広域緑地として公園づくりを進めています。</p> <p>○ 開園面積A=16.75ha</p>
<p>令和8年度事業費</p>	<p>約2億4,000万円</p>
<p>令和8年度事業内容</p>	<p>園路改修工（座間谷戸山公園） さくら橋改修工（相模三川公園）等</p>

[座間谷戸山公園 平面図]



[相模三川公園 平面図]

さくら橋改修工



問合せ先

厚木土木事務所東部センター
工務部 道路都市課
電話 0467-79-2800 内線230

県立都市公園の整備

都市公園整備事業（津久井湖城山公園 他）

区分	相模原市緑区根小屋 他
事業概要	<p>津久井湖城山公園では、津久井地域のシンボルである城山を中心としたエリアについて、森林等の豊かな自然と津久井城等の固有な歴史的資源を保全しながら広域的な活用を図るため、公園施設における老朽施設の更新及び公園施設の整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 開園面積A=95.0ha <p>相模湖公園は、前回の全面リニューアルから30年が経過し、施設の老朽化が進行している状況、及び、これまで様々なイベントなどに活用されてきていることから、より魅力ある公園にするため、老朽化対策と併せてリニューアルを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 開園面積A=2.5ha
全体事業費	148億円
令和8年度事業内容	森のステージデッキ改修工、用地・補償 他（津久井湖城山公園） 駐車場の雨漏り補修、多目的ステージ整備工 他（相模湖公園）
事業期間	平成5年度(1993年度)～令和11年度(2029年度)

津久井湖城山公園 平面図



相模湖公園 平面図



県営上溝団地及び県営綾瀬寺尾団地の整備

「県営住宅整備事業」

区分	県営上溝団地
事業概要	<p>県営住宅整備事業は、住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で良質な県営住宅を整備することにより住環境水準の向上を図るとともに、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものである。</p> <p>県営上溝団地は昭和42年度から昭和46年度に建設した団地で、令和4年度からPFIによる建替事業を進めている。</p> <p>(1) 工事箇所 相模原市中央区光が丘 (2) 構造階数 鉄筋コンクリート造3階建て他 (3) 計画戸数 460戸</p>
全体事業費	約143億円
令和8年度事業内容	建設工事（建築・給排水・電気） 工事監理業務 入居者移転支援業務 等
事業期間	令和4年度 ～ 令和9年度



(位置図)



(配置図)

問合せ先
 建築住宅部 公共住宅課
 電話 045-210-1111 内線6563

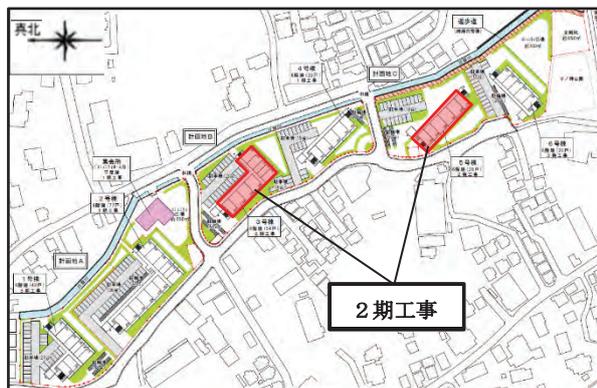
県営上溝団地及び県営綾瀬寺尾団地の整備

「県営住宅整備事業」

区分	県営綾瀬寺尾団地（2期）
事業概要	<p>県営住宅整備事業は、住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で良質な県営住宅を整備することにより住環境水準の向上を図るとともに、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものである。</p> <p>県営綾瀬寺尾団地は昭和47年度に建設した団地で、令和7年度から建替事業を進めている。</p> <p>(1) 工事箇所 綾瀬市寺尾中 (2) 構造階数 鉄筋コンクリート造6階建て (3) 計画戸数 90戸</p>
全体事業費	約34億円
令和8年度事業内容	建設工事（建築・給排水・電気） 工事監理業務 等
事業期間	令和7年度 ～ 令和9年度（予定）



(位置図)



(配置図)

問合せ先
 建築住宅部 公共住宅課
 電話 045-210-1111 内線6563

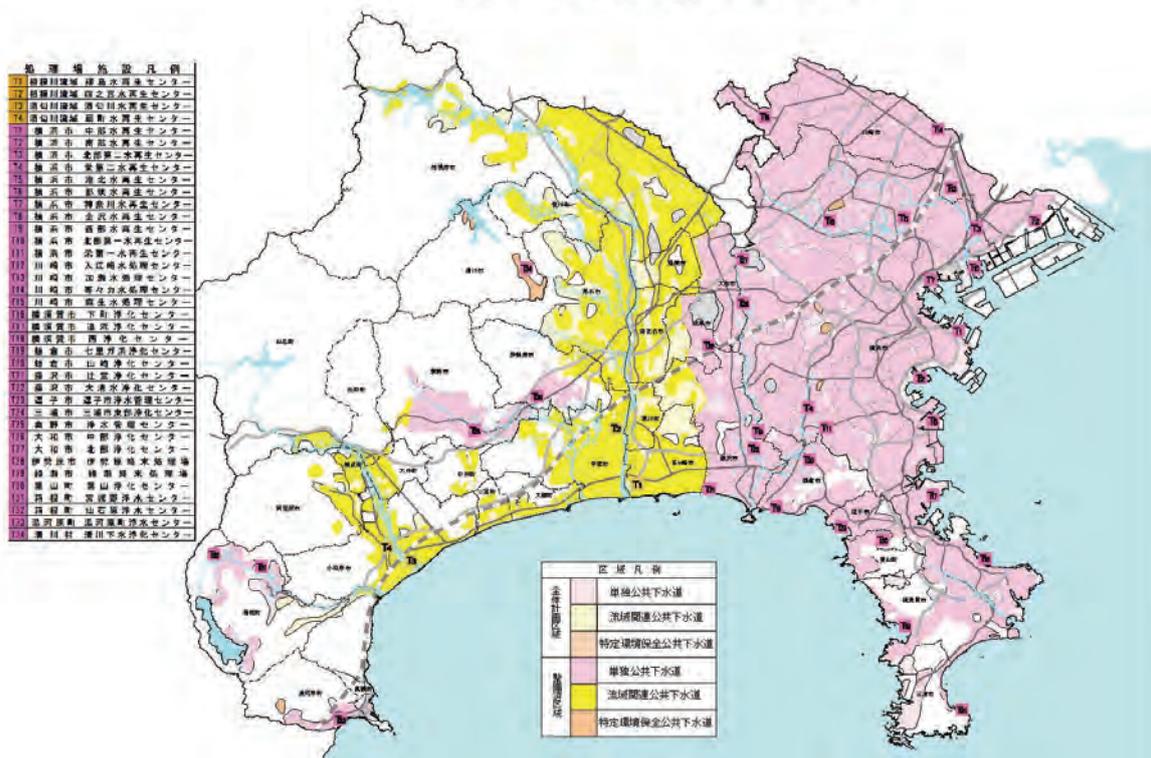
相模川流域下水道の整備

区分	相模川流域下水道（建設改良事業）
事業概要	<p>「神奈川県流域下水道事業経営ビジョン」（計画期間：令和3～12年度）に基づき、「効果的な老朽化対策」、「災害対策の強化」、「環境保全の推進」を柱に主要施策に取り組む。</p> <p>機械・電気設備について、老朽化の度合いと故障などによる利用者等に与える影響を考慮し、厳選して改築更新を実施するとともに、大規模地震時でも処理場の機能を継続するため、必要な施設の耐震化を推進する。</p>
全体事業費	約570億円
令和8年度事業内容	右岸処理場水処理施設耐震工事ほか 左岸処理場汚水ポンプ機械設備改築工事ほか
事業期間	令和3年度～令和12年度
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>位置図</p> <p>The map shows the Sagami River basin sewerage system. It highlights the right bank treatment plant (平塚市四之宮四丁目) and the left bank treatment plant (茅ヶ崎市柳島). The main sewerage pipes (幹線管きよ) are shown in blue. The map also shows the Sagami River (相模川) and Sagami Bay (相模湾). Major cities and towns in the region are labeled, including Sagami City (相模原市), Maibara City (愛川町), and others. A legend indicates that 'T' symbols represent treatment plants and blue lines represent main pipes.</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問合せ先 県土整備局 河川下水道部 下水道課 電話 045-210-1111 内線6453</p> </div> </div>	

公共下水道の整備の促進

<p>区分</p>	<p>公共下水道</p>
<p>事業概要</p>	<p>市町村が実施する公共下水道事業は、汚水の収集・処理、雨水の排除により、生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水の防除、さらには、河川、湖沼、海域等の公共用水域の水質保全を図るための重要な事業となっている。</p> <p>神奈川県内の令和6年度末における、下水道処理人口普及率は97.2%となっており、着実な整備が進められている。</p> <p>県は、市町村が実施する公共下水道事業に関わる指導・助言や連絡調整などを行い、整備促進のための支援を行っている。</p>
<p>令和8年度事業内容</p>	<p>市町村が実施する公共下水道事業に関わる指導・助言や連絡調整等</p>

公共下水道（汚水）整備状況図

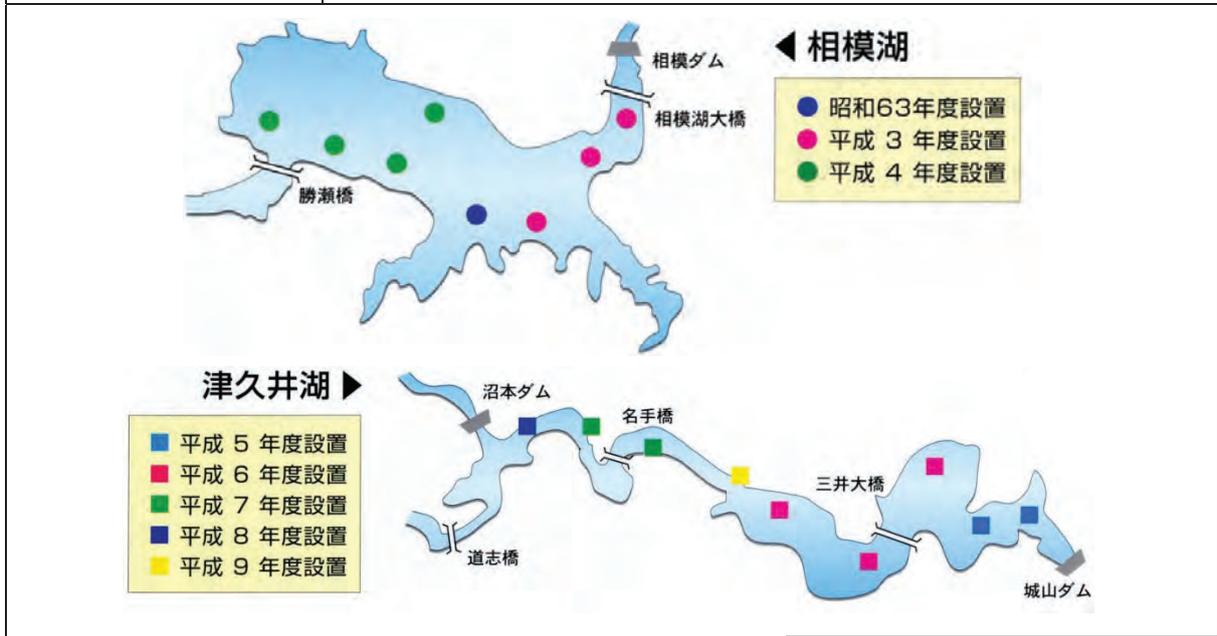


問合せ先
 県土整備局 河川下水道部
 下水道課
 電話 045-210-1111 内線6457

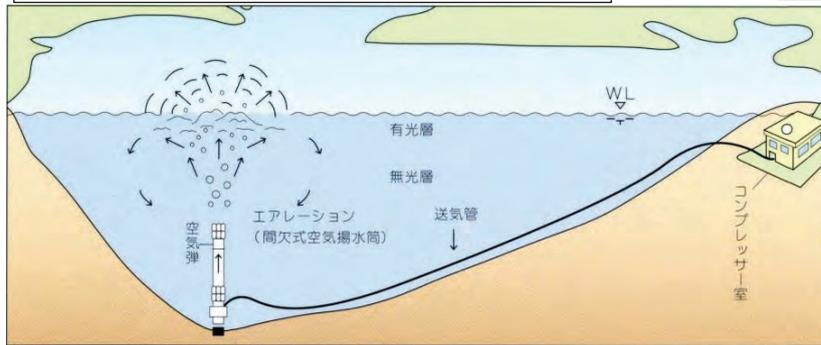
アオコ対策

「相模湖及び津久井湖に係る環境整備事業・維持管理事業」

区分	アオコ対策（相模湖など）
事業概要	相模湖・津久井湖では、富栄養化が進み、夏季にはアオコやアナベナが異常に繁殖し、公共水面の環境保全及び水道水源の面から問題になってきたことから、河川管理者と利水者（神奈川県企業庁、横浜市、川崎市及び横須賀市）の共同事業により、アオコ等の繁殖対策としてエアレーション装置を設置し、両湖の環境保全及び水質保全を図っている。
令和8年度事業内容	エアレーション装置の更新、維持管理
事業期間	昭和63年度～



間欠式空気揚水筒式エアレーション装置【概要図】



（原理）揚水筒の下部から大きな泡を断続的に発生させ、筒内の水を一気に押し上げることにより、浅いところと深いところの水の入れ替えを図り、表面の藻類を光の届かないところに送り込むことにより、藻類の増殖を抑制しようとするものです。

エアレーション装置による攪拌作用

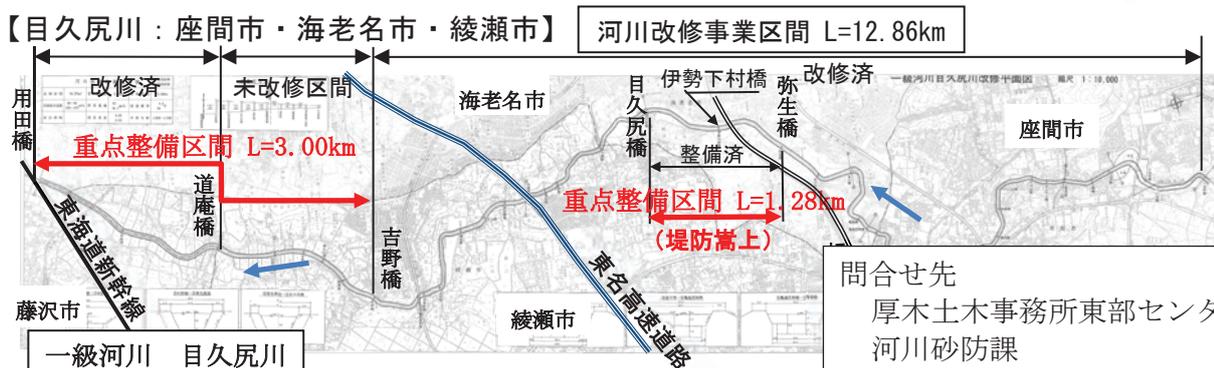
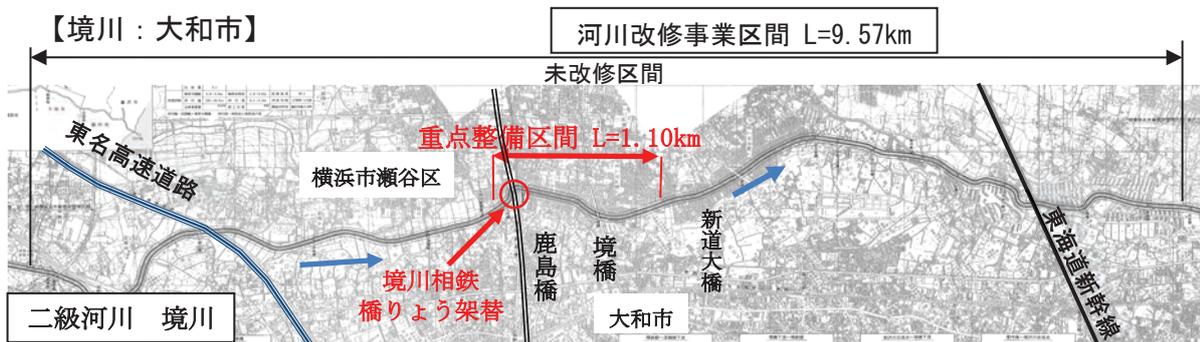
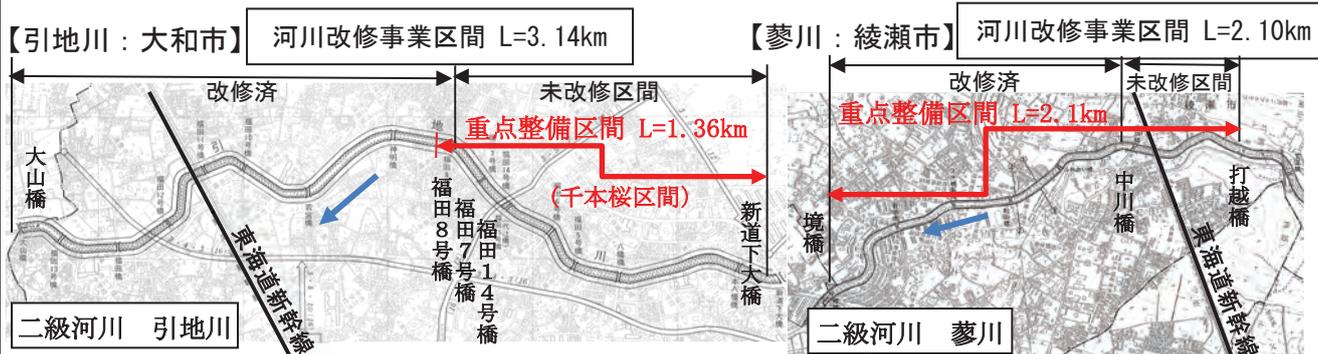


問合せ先
 県土整備局
 河川下水道部 河港課
 電話 045-210-6491

多自然護岸の整備／境川相鉄橋りょう架替／護岸、堤防の整備

河川改修事業 引地川・蓼川・永池川・境川・目久尻川

区分	大和市・海老名市・綾瀬市・座間市
事業概要	近年、甚大化する洪水などの自然災害から県民の生命、財産を守るために河川改修事業を重点的、集中的に実施すると共に、人や自然にやさしい水辺の整備により、安全で安心できる水辺空間の創出を図る。
令和8年度事業内容	護岸工、河道掘削工、橋りょう工
事業期間	平成21年度(2009)～令和21年度(2039) ※境川相鉄橋りょう架替は平成25年度(2013)～令和11年度(2029)

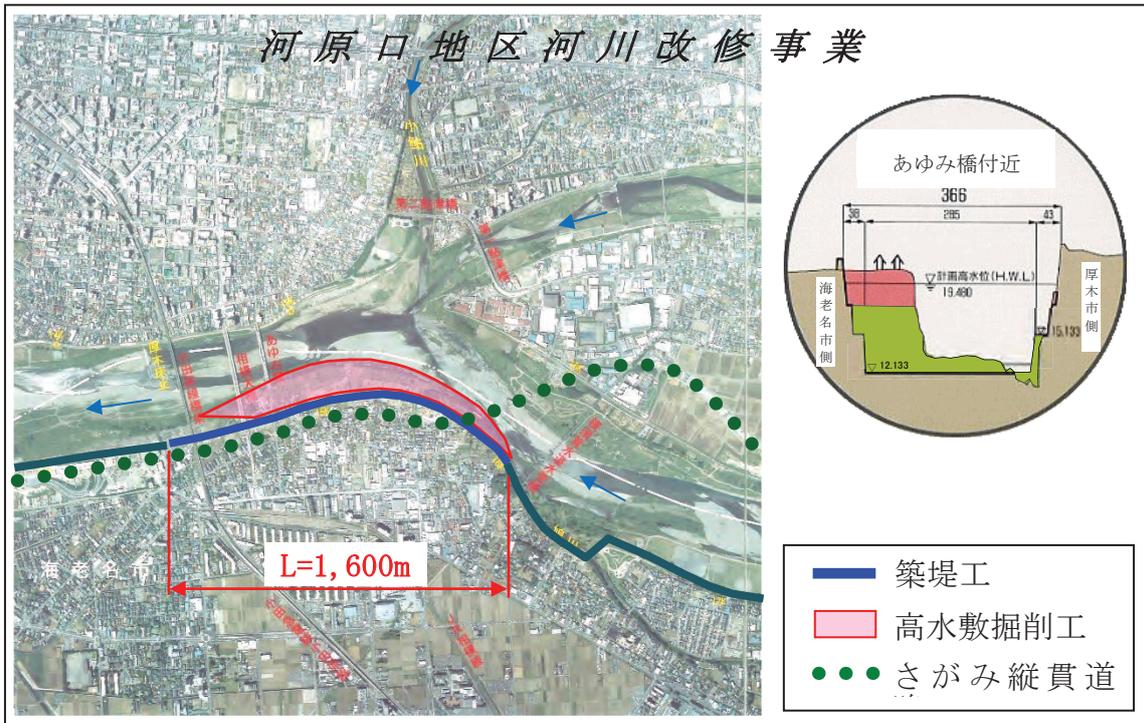
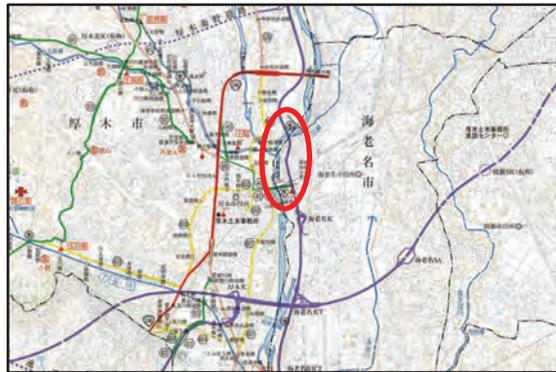


護岸、堤防の整備

相模川（河原口地区）

区分	一級河川 相模川（海老名市河原口）
事業概要	相模川の海老名市河原口地区において川幅を拡幅することにより、洪水を安全に流下させ、水害を未然に防止するため河川改修事業を実施する。 ○ 河川改修延長 1,600m (築堤工 L=1,600m 高水敷掘削 V=約30万 ^m ³)
全体事業費	約281億円
令和8年度事業内容	埋蔵文化財調査
事業期間	昭和47年度～令和15年度

〔位置図〕



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 相模川環境課
 電話 046-223-1711 内線250

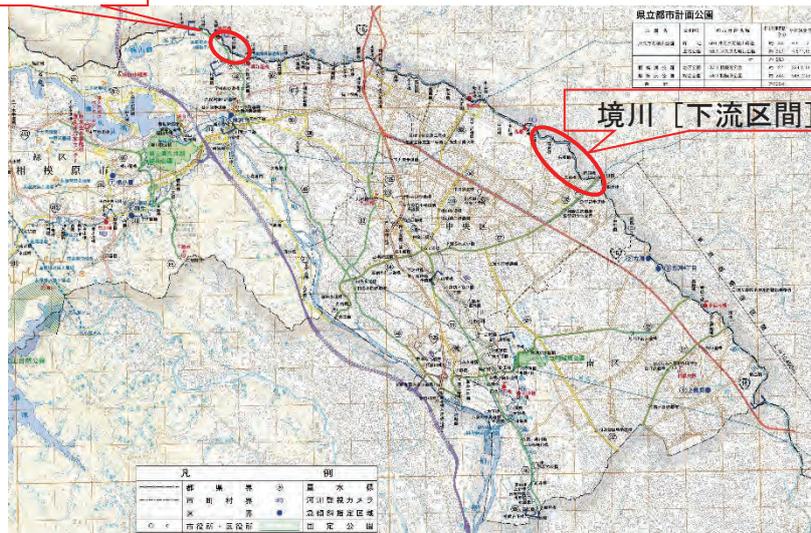
護岸、堤防の整備

河川改修事業（境川）

区分	相模原市中央区淵野辺本町一丁目 他
事業概要	<p>当管内の境川は川幅が狭小の河川であり、さらに、典型的な都市河川で流域開発が著しく進み、河川への負担が大きくなっていることから河川護岸の改修を実施する。</p> <p>【重点整備区間】</p> <p>○境川〔上流区間〕下馬の橋～風戸橋 L=約0.62km 護岸工、風間遊水地整備工 他</p> <p>○境川〔下流区間〕根岸橋～馬場橋 L=約3.0km 護岸工、用地買収 他</p>
全体事業費	約100億円
令和8年度事業内容	護岸工、用地・補償 他
事業期間	平成21年度（2009年度）～令和15年度（2023年度）

境川〔上流区間〕

位置図

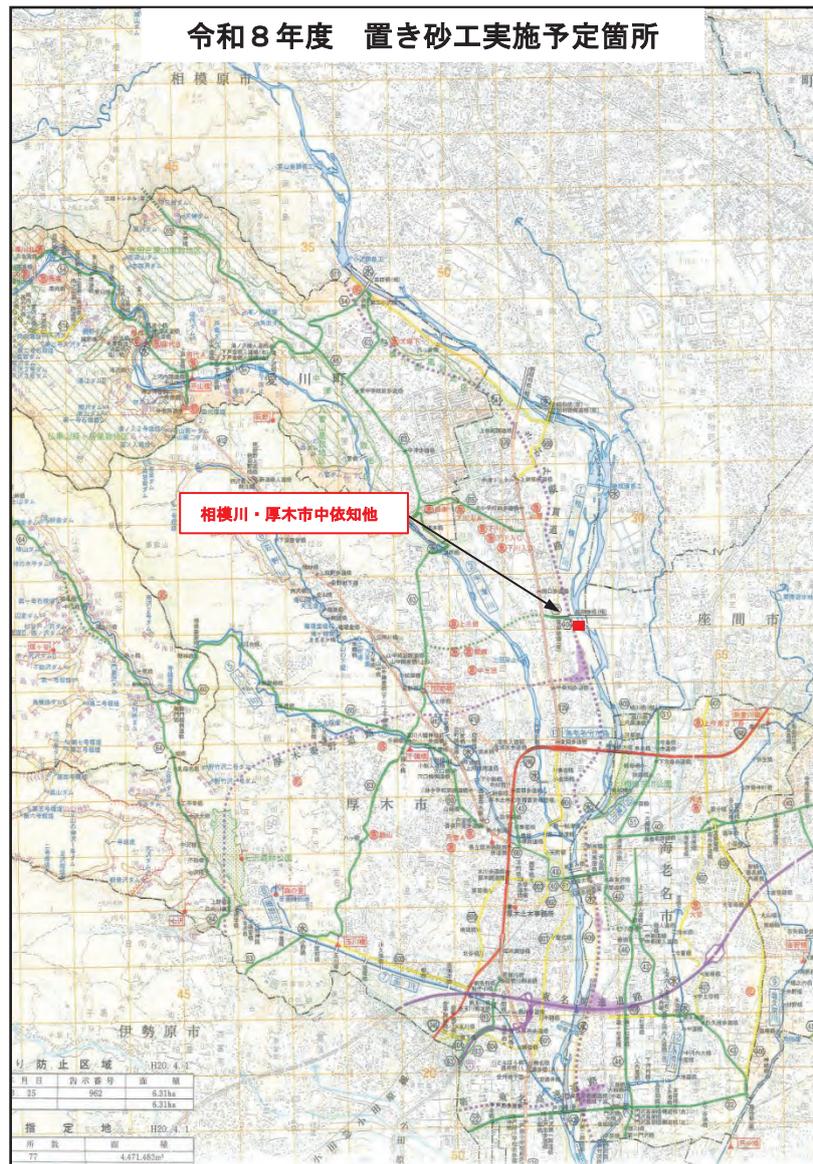
境川〔上流区間〕風間遊水地整備
(緑区川尻)
(令和4年度完成)境川〔下流区間〕護岸整備状況
(中央区淵野辺本町一丁目)

問合せ先
厚木土木事務所津久井治水センター
工務課
電話 042-784-1111 内線460

相模川中流域の置き砂の実施

区分	一級河川 相模川
事業概要	河道内の土砂移動の是正を行うため、ダム等に堆積した土砂を用いた置き砂を実施している。
令和8年度事業内容	置き砂工
事業期間	平成18年度～

〔位置図〕



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 相模川環境課
 電話 046-223-1711 内線250

砂防施設の整備

通常砂防事業（明神沢）

区分	通常砂防事業 明神沢（清川村煤ヶ谷）
事業概要	明神沢は、溪床勾配が1/6程度の急峻な土石流危険渓流であり、下流には保全人家や緊急輸送道路（県道60号）もあることから、砂防堰堤を設置し、土石流による災害を防止し、地域住民の生命や財産の保全を図る。
全体事業費	約3億円
令和8年度事業内容	堰堤工 1基
事業期間	平成30年度～令和11年度

〔位置図〕



〔平面図〕



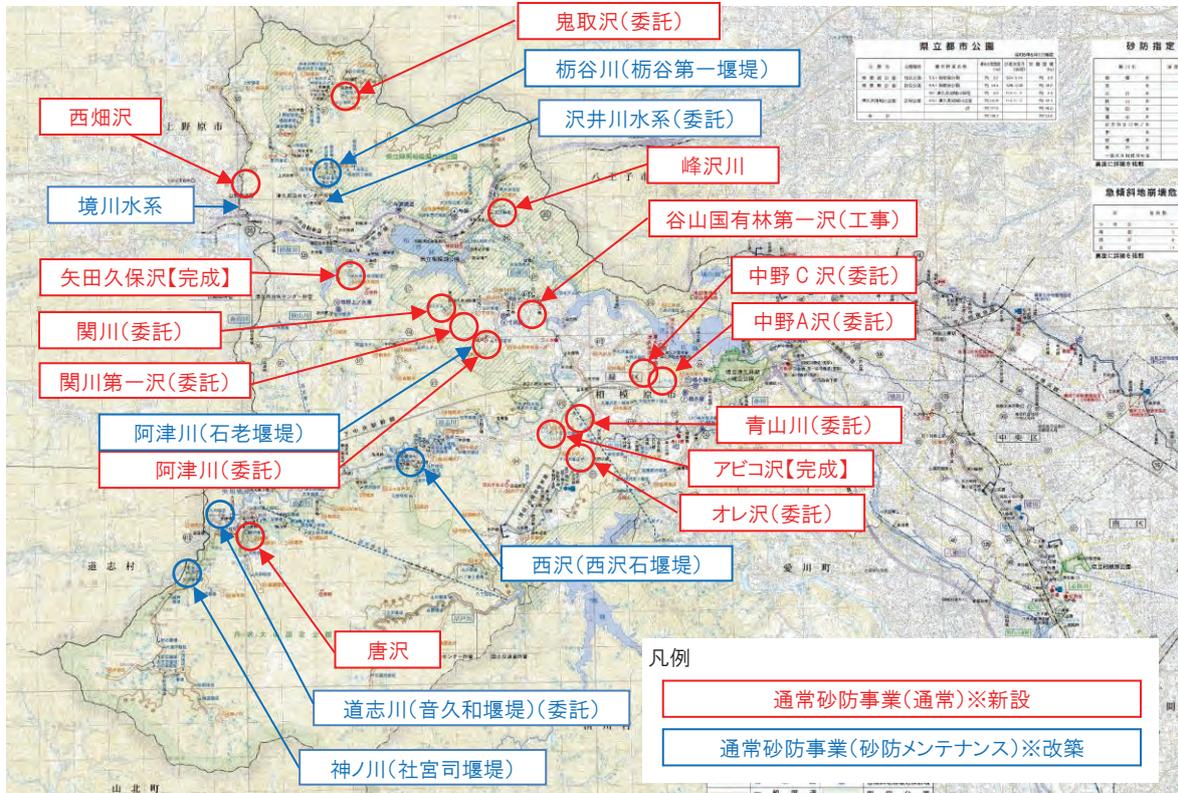
問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 河川砂防課
 電話 046-223-1711 内線230

砂防施設の整備

砂防事業（砂防指定地谷山国有林第一沢 他）

区分	相模原市緑区寸沢嵐 他
事業概要	当管内には、台風や豪雨による土砂流出の危険性の高い溪流が点在しており、これに起因する土砂災害から住民の生命を守るため災害防止施設の整備及び改築を実施する。 ○ 砂防指定地谷山国有林第一沢 他19箇所
全体事業費	約50億円
令和8年度事業内容	砂防堰堤工、設計 他
事業期間	平成23年度～令和24年度予定

(写真、地図、図面、ポンチ絵等)



【矢田久保沢（令和3年度完成）】



【谷山国有林第一沢】



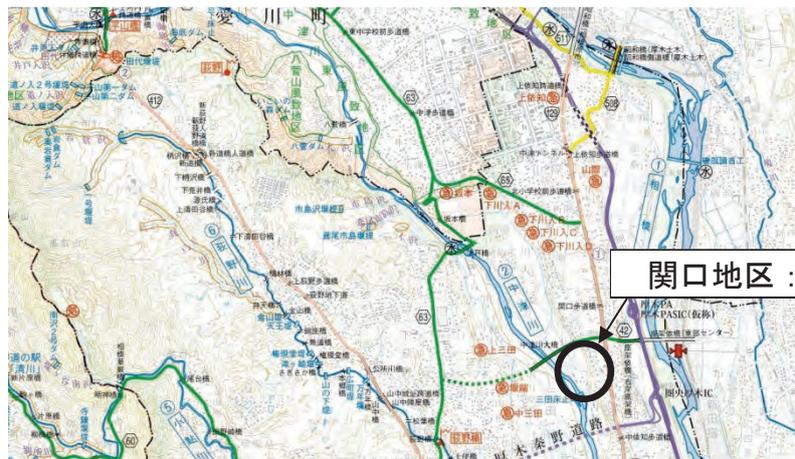
問合せ先
 厚木土木事務所津久井治水センター
 工務課
 電話 042-784-1111 内線460

急傾斜地崩壊防止施設の整備

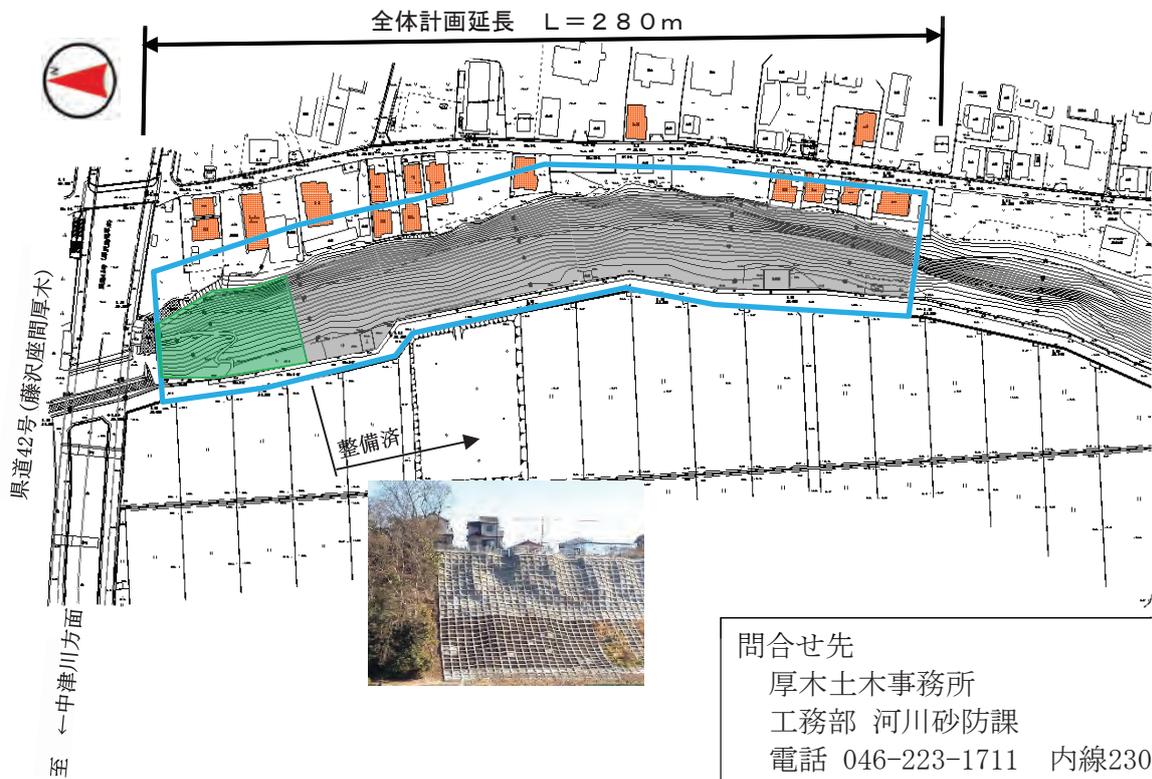
関口地区

区分	急傾斜地崩壊対策事業 関口地区（厚木市関口）
事業概要	急傾斜地の土砂崩壊による災害を防止するため、法枠等の崩壊防止施設を設置し、地域住民の生命の保全を図る。
全体事業費	約5億円
令和8年度事業内容	法面工
事業期間	令和元年度～令和9年度

〔位置図〕



〔平面図〕



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 河川砂防課
 電話 046-223-1711 内線230

急傾斜地崩壊防止施設の整備

急傾斜地崩壊対策事業（根小屋C地区 他）

区分	相模原市緑区根小屋 他
事業概要	当管内には、台風や豪雨による崩壊の恐れのある崖が点在しており、これに起因する土砂災害から住民の生命を守るため災害防止施設の整備を実施する。 ○ 根小屋C地区 他4箇所
全体事業費	約10億円
令和8年度事業内容	法枠工、設計 他
事業期間	令和元年度～令和13年度

(写真、地図、図面、ポンチ絵等)



【根小屋B地区(令和7年度完成)】



【根小屋C地区】



問合せ先
厚木土木事務所津久井治水センター
工務課
電話 042-784-1111 内線460

道路法面の防災対策

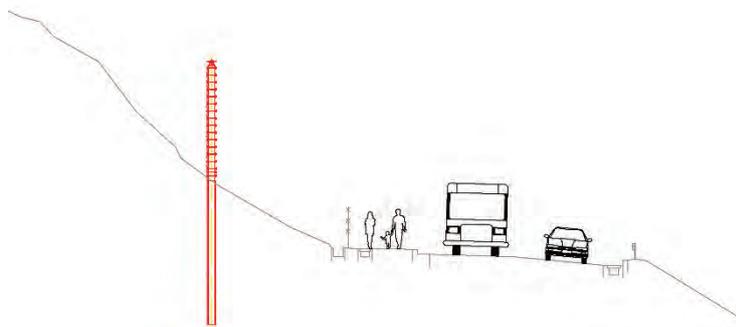
国道412号

区分	国道412号 愛川町田代地内
事業概要	大規模災害時における応急対応機能を確保するため、道路の法面や路肩の擁壁等の危険箇所に防災工事を行う。
全体事業費	約1億7,000万円
令和8年度事業内容	落石防護柵工
事業期間	令和2年度～令和8年度（予定）

<位置図>



<横断図>



<写真>



問合せ先
 厚木土木事務所
 工務部 道路維持課
 電話 046-223-1711 内線610